

2009年3月3日

お客様各位

テックマークジャパン株式会社  
代表取締役社長 将積 保博

AIG 本社の損害保険事業に関する方針と弊社について

拝啓 平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界の金融市場の混乱した状況が継続し、弊社の親会社でありますAIGにつきまして、皆様には大変なご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

本日付AIGからのプレスリリース（別添付）にありますように、AIGは米国財務省と連邦準備制度理事会（FRB）との間で、財務基盤の改善、新たな資本増強枠の設定、ニューヨーク連邦準備銀行（FRBNY）からの借入金の一部返済と借入れコスト軽減、FRBNYからの借入れ枠の維持を含む新たな公的支援策を受けることで合意しております。

また、これらの支援策にあわせ、AIGはグループ内の損害保険事業を再編し、米国内損害保険事業及び弊社（テックマークジャパン株式会社）を含む米国外損害保険及び当該関連事業を新たに設立する持ち株会社AIUホールディング・インクの傘下に置く事を発表致しました。これにより損害保険事業は独自に資本調達することも可能となります。なお、弊社は新たに設立されるAIUホールディング・インクの一員となる予定です。

弊社が属する米国外損害保険及び当該関連事業の2008年度正味収入保険料は前年比110.3%で約144億ドル、保険引受利益は約10億ドルと堅調な運営を継続しております。また、弊社は長期延長保証（ワランティ）に関するリスクについては、AIU保険会社及び日本の大手損害保険会社との保険契約により最小限にコントロールしておりまして、健全な事業運営により成長を続け、十分なキャッシュフローを持っております。

弊社は日本における長期延長保証（ワランティ）のパイオニアとしての実績に基づき、日本法人として独立性の高い資本基盤を確保しながらお客様に安心していただけるプログラムとサービスを提供してまいります。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具